

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 9月号

令和3年8月31日（火）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

今できることを精一杯 やっつけていけば道は拓ける

41日間の長い夏休みが終わり、子どもたちの元気のよい声が飛び交い、再び学校に活気が戻ってきました。保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年の夏休みは、東京オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の連日の活躍に、日本中が歓喜に沸きました。どんなに苦しくて厳しい状況に立たされても、最後の最後まであきらめずに必死に競技し続ける選手の姿を見て、メダルを獲得するしないにかかわらず、胸が熱くなりました。出場した全ての選手たちに心から賞賛の拍手を送りたいと思います。

その中で、卓球の混合ダブルスに出場した水谷隼選手と伊藤美誠選手の準々決勝での大逆転劇は、まさに奇跡的な勝利だったと思います。ゲームカウント3-3で迎えた最終第7ゲーム。2-9の絶体絶命の局面に追い込まれても、水谷選手と伊藤選手は決してあきらめず、それぞれの局面で自分たちにできることを必死に考えながらプレーし続け、歴史的な逆転勝利を収めました。試合後のインタビューの中で、伊藤選手が、「(信頼している)水谷選手とだから勝てたって思いました。」と述べていましたが、人を信じ抜くことの強さを改めて感じました。

一方で、新型コロナウイルスの感染が全国規模で爆発的に拡大し、神奈川県も緊急事態宣言が9月12日まで延長されました。このことを受け、9月12日・13日に予定していた6年生の修学旅行は、苦渋の決断ではありますが、中止とさせていただきます。心待ちにしていた子どもたちの気持ちを思うといたたまれなくなりますが、子どもたちと引率職員の安全確保を最優先に考えた結果の判断であることをご理解ください。

感染拡大の収束が見通せない状況が続いておりますが、その状況下で何ができるかを前向きに考え、全教職員が一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。感染防止対策につきましては、裏面（「感染レベル3」に伴う学校における活動の取扱い等について）をご覧ください。今後とも、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。